

## キー・トピック

• 東方経済フォーラム出張会議がムンバイで開催

• ブリヤート共和国に新たな経済特区が創設

• ロシア極東の簡易ビザ承認国リストが拡大



## 東方経済フォーラムニュース

2019年6月4日 「Gazeta.ru」

### 第5回東方経済フォーラム参加者、クルーズ客船「コスタ・ベネチア号（Costa Venezia）」に宿泊

ゲスト用のホテルルームとして様々なタイプの快適なキャビン2116室が用意されている。客室はそれぞれ14のデッキに設置されており、5つ星ホテルのレベルに相当する専用のコンシェルジュと最高のサービスを受けることが可能となっている。クルーズ客船のインフラ設備は「コスタ・ベネチア号」の宿泊客だけでなく、「東方経済フォーラム2019」のすべての参加者及びゲストも利用できる。フォーラム開催中に数多くの民間イベントが開催されることも予定されている。

「第5回東方経済フォーラム」の主催者らは、使節員、ジャーナリスト及び支援団体の従業員のために合計8500室の客室を用意した。

<https://www.gazeta.ru/gazeta/adv/12438139.shtml>

2019年6月24日 「タス通信」

### 東方経済フォーラム2019のゲストにウラジオストク要塞が披露

「ウラジオストク要塞博物館」は、東方経済フォーラムゲストへ披露するため、9月完了を目途にポスペロヴァ要塞の改良作業計画を考案している。

ウラジオストクにある要塞を基とした「ウラジオストク要塞博物館」設立は、2018年11月にウラジーミル・プーチン大統領によって承認された。要塞は19世紀後半から20世紀初頭に建てられたユニークな軍事複合施設となっている。

<https://tass.ru/v-strane/6582798>

2019年6月19日 「インテルファクス」

### ムンバイで東方経済フォーラム出張会議が開催

インド事業家のロシア極東におけるビジネスの可能性と展望が、出張会議の参加者らにより話し合われた。会議においてはロシア極東連邦管区における投資の可能性、経済特区や自由港

における特惠制度が披露された。また鉱業、木工業、農業におけるパートナーシップ構築についても議論が行われた。合計で55社のインド企業からの130人以上の代表が会議に参加する結果となった。

会議で出された結論は、東方経済フォーラム2019のビジネスプログラムの作成に組み込まれることが期待されている。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=1039161>

2019年6月17日「インテルファクス」

### ユーリ・トルトネフ副首相が韓国起業家を東方経済フォーラム2019に招待

ロシアのトルトネフ副首相はこの旨について韓国のロシア駐在大使リ・ソク・ペ氏との会談において述べた。トルトネフ副首相によると、去年の東方経済フォーラムに参加した韓国使節団には330人以上のビジネス代表の姿があったという。東方経済フォーラム2019においてもこれに見劣りしない数多くのビジネス代表の姿が見られるだろう、とトルトネフ副首相は言及した。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/main.asp?id=1038460>

2019年6月8日「タス通信」

### ザバイカリエ地方から韓国への水の供給に向けた協定が東方経済フォーラム2019で署名

ロシア極東投資誘致・輸出支援エージェンシーは、東方経済フォーラムで韓国の投資家と最大5つの協定を締結することを予定している。文書の1つは、2020年に開始される予定の飲料水生産プラントの建設に関するものとなる。プロジェクトへの投資額は1000万から1500万ドル、年間生産量は約5億リットルに上ることが予定されている。

<https://tass.ru/ekonomika/6529668>

## ロシア極東地域の国家政策

2019年6月25日「ロシア新聞」

### ロシア極東の住民が年率2%で住宅ローンを利用可能に

「極東ヘクター」の利用者および極東連邦管区に居住する子供が多い世帯は住宅ローンの優遇制度を利用することが可能となる。住宅の購入、建設、修理の際にローンを利用することが可能だ。トルトネフ副首相によると、2035年までの展望が見込まれる、2025年までのロシア極東国家開発計画案と2035年までの将来のために提供されている。

<https://rg.ru/2019/06/25/reg-dfo/iurij-trutnev-dalnevostochniki-smogut-poluchit-ipoteku-pod-dva-procenta.html>

2019年6月20日「RIAノーボスチ」

### ロシア極東の簡易ビザ承認国リストが拡大

台湾は、国民がロシア極東の簡易ビザ制度を利用できる19番目の国になった。

ロシア政府の発表によると、経済・貿易、観光、文化・人道的活動分野での台湾との結びつきを強め、極東連邦管区への追加投資を誘致する目的で、リスト国拡大が認められたという。

<https://ria.ru/20190620/1555723645.html>

2019年6月17日「タス通信」

### サハリンの橋建設と建設用港の建設費用が433億ルーブルに相当

ロシア極東・北極圏開発副大臣のA・クルチコフ氏はロシア連邦公会議において述べた。本土からサハリンへの橋を建設し、日本の北海道にまで架けることで、日本の港をロシアの鉄道と北極海航路のシステムに含めることが可能となる。

<https://tass.ru/ekonomika/6557473>

## ロシア極東経済ニュース

2019年6月17日「コメルサント」

### ブリヤート共和国に新たな経済特区が創設

ドミートリー・メドヴェージェフ首相は経済特区が「ブリヤート」設立に関する法令に署名した。同地域では、家禽複合施設と税関・物流ターミナルを建設することが計画されている。プロジェクトへの民間投資額は55億ルーブルになる予定である。新たな経済特区のプロジェクト実施により、約900の新規雇用が生まれ、2028年までの総予算に対して、総収入額は28億ルーブル以上になると見込まれている。

<https://www.kommersant.ru/doc/4003986>

## ロシア極東の新たな発展のメカニズム: 成功の実例

2019年6月7日「ロシア新聞」

### サハリンにヒルトンホテルが登場

ホテルは10階建て、総面積2万3600平方メートルというサハリンで最大級のホテルとなる。客室はエリートクラスの部屋を含めて209室となり、300人のゲストを収容できるレストラン、2つのカンファレンス・ホールが供えられる。ホテルは7月に着工し、2022年に完成する予定だ。

ホテルの建設は、先進開発区域「ゴルヌィ・ヴォズドゥフ」内で民間投資により計画されている。プロジェクトの費用は20億ドルに上る。

<https://rg.ru/2019/06/07/reg-dfo/na-sahaline-poiavitsia-gostinica-seti-hilton.html>